

訂正：再発行あり

NEWS RELEASE



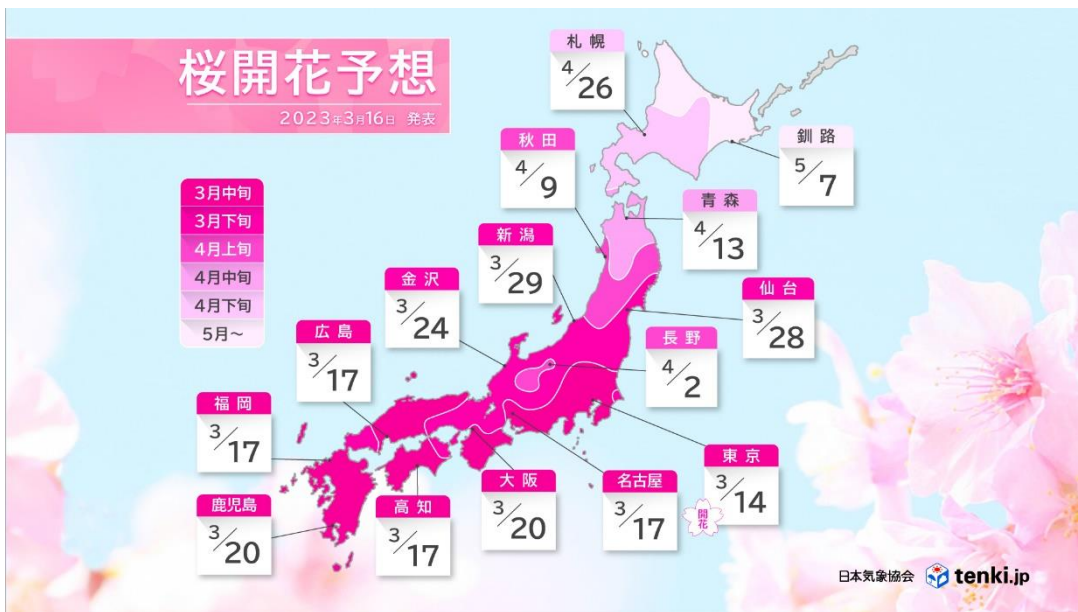
【報道関係各位】

2023年3月16日
一般財団法人 日本気象協会

2023年桜開花予想（第5回） 週末から春分の日にかけて続々と開花ラッシュ 東京の満開は23日か

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：長田 太、以下「日本気象協会」）は、日本全国84地点の桜〔ソメイヨシノほか〕の開花予想（第5回）を、2023年3月16日（木）に発表します。

開花予想前線図



開花・満開予想日(主な地点)

地点	開花 予想日と平年比		平年開花日		昨年開花日		満開 予想日と平年比		平年満開日		昨年満開日	
	予想日	平年比	平年	昨年	平年	昨年	予想日	平年比	平年	昨年	平年	昨年
鹿児島市	3/20	早い	3/26	3/20	3/26	3/20	3/29	かなり早い	4/5	4/1	4/5	4/1
福岡市	3/17	早い	3/22	3/17	3/22	3/17	3/25	早い	3/31	3/27	3/31	3/27
高知市	3/17	早い	3/22	3/19	3/22	3/19	3/25	早い	3/30	3/27	3/30	3/27
広島市	3/17	かなり早い	3/25	3/21	3/25	3/21	3/26	かなり早い	4/3	3/29	4/3	3/29
大阪市	3/20	かなり早い	3/27	3/23	3/27	3/23	3/27	かなり早い	4/4	3/30	4/4	3/30
名古屋市	3/17	かなり早い	3/24	3/22	3/24	3/22	3/27	早い	4/2	3/30	4/2	3/30
千代田区	3/14	かなり早い	3/24	3/20	3/24	3/20	3/23	かなり早い	3/31	3/27	3/31	3/27
長野市	4/2	かなり早い	4/11	4/9	4/11	4/9	4/8	かなり早い	4/16	4/11	4/16	4/11
新潟市	3/29	かなり早い	4/8	4/8	4/8	4/8	4/3	かなり早い	4/13	4/11	4/13	4/11
金沢市	3/24	かなり早い	4/3	3/30	4/3	3/30	3/28	かなり早い	4/8	4/5	4/8	4/5
仙台市	3/28	かなり早い	4/8	4/8	4/8	4/8	4/3	かなり早い	4/13	4/11	4/13	4/11
秋田市	4/9	かなり早い	4/17	4/12	4/17	4/12	4/16	早い	4/22	4/16	4/22	4/16
青森市	4/13	かなり早い	4/22	4/16	4/22	4/16	4/18	かなり早い	4/26	4/20	4/26	4/20
札幌市	4/26	早い	5/1	4/23	5/1	4/23	4/29	かなり早い	5/6	4/25	5/6	4/25
釧路市※	5/7	かなり早い	5/16	5/8	5/16	5/8	5/10	かなり早い	5/19	5/10	5/19	5/10

※釧路市はエゾヤマザクラの予想

桜の花芽の様子

		
<p>名古屋の標本木(3月14日撮影) 17日の開花予想です。つぼみが膨らみ始めており、もう間もなく花開きそうです。</p>	<p>東京の標本木(3月14日撮影) 14日に開花し、全国で開花一番乗りとなりました。東京としても過去最早タイの速さでの記録となります。</p>	<p>広島 of 標本木(3月14日撮影) 17日の開花予想です。つぼみが膨らみ始めています。今年も平年より早く咲きそうです。</p>

開花と満開の傾向

3月に入り、全国的に気温が高く推移しています。特に、関東や東北、北陸の一部では3月上旬の日平均気温の平年差が+4℃を超えるなど、顕著な高温となっています。今後も平年より気温が高い状態が続く見込みで、開花、満開ともに平年より早くなる場所が多いでしょう。

今年の開花は、3月14日に東京からスタートしました。15日には横浜、16日正午までには岐阜から開花の便りが届いています。この先、17日には福岡や名古屋、18日には甲府、前橋などで開花する見込みで、3月末までに九州から東北南部にかけて広く開花した後、東北北部の盛岡や青森でも、それぞれ4月10日、4月13日と、統計開始以来最早に迫る早さで開花するでしょう。桜前線は4月下旬に津軽海峡を渡り、4月22日に函館、26日に札幌で開花する見込みです。

3月中は高温傾向が継続する見込みのため、満開日も全国的に平年より早くなるでしょう。3月下旬には九州から関東の広い範囲と、北陸や甲信、東北の一部で満開となり、東京では3月23日に満開となる見込みです。

全国的に平年より早く満開を迎える地点が多くなる予想ですが、東日本ほどその傾向が強く、関東甲信、北陸、東北地方では平年より10日以上早く満開を迎えるところもあるでしょう。

この冬(12月～2月)は、たびたび強い寒気が流れ込みました。全国的に厳しい寒さの日も多く、桜の花芽の休眠打破^{*}は順調に行われたとみられます。さらに3月に入ってから、各地で高温傾向が続いており、桜の早期開花・満開を促す条件が整っています。14日の東京、15、16日正午までに開花した横浜、岐阜に続いて、週末から春分の日にかけては、開花ラッシュとなるでしょう。

※休眠打破: 前年の夏に形成され休眠に入った花芽が、冬になり一定期間の低温にさらされて目覚めること

全84地点の桜の開花予想日は、日本気象協会が運営する天気予報専門メディア『tenki.jp(てんきじえーぴー)』桜の開花予想ページ(<https://tenki.jp/sakura/expectation/>)にて公開しています。

【言葉の説明】

平年: 1991～2020年の平均値

かなり早い	: 平年よりも7日以上早い
早い	: 平年よりも3日から6日早い
平年並	: 平年との差が2日以内
遅い	: 平年よりも3日から6日遅い
かなり遅い	: 平年よりも7日以上遅い

以上



参考資料

桜開花予想に関するよくあるご質問

Q1:桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1:以下の日程を予定しています。1月、2月中は開花予想日のみを発表し、3月以降は開花予想日と満開予想日を発表します。

第1回 1月26日(木)	第2回 2月16日(木)	第3回 3月2日(木)	第4回 3月9日(木)
第5回 3月16日(木)	第6回 3月23日(木)	第7回 3月30日(木)	第8回 4月13日(木)
第9回 4月27日(木)			

Q2:開花日・満開日の基準は？

A2:気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5~6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q3:予想する地点数は？

A3:1月、2月中は49地点、3月以降は全国で84地点を予定しています。予想地点84地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる31地点となります。

*当初は89地点の発表を予定しておりましたが、検討の結果、84地点に変更となりました。

Q4:日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4:花芽(はなめ)の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。

日本気象協会は2007年から桜の開花予想を実施しており、今年で17年目の取り組みです。

Q5:開花予想に使うデータは？

A5:以下データを使用しています。

- ① 前年秋から予想作業日前までの気温観測値
- ② 予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。